

「デジタル化」時代の新しい歴史資料集

教材活用シリーズ 第116回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

(株)浜島書店
歴史資料集デジタルサポートDVD
『デジタル絵巻・一遍聖絵』



おきしろ なおや
沖代 直也

(株)浜島書店 編集部 社会科担当)

関連する「動画」
などです。

（浜島書店刊『アクティブ地理』『学び考える歴史』『つながる歴史』『よみとき総合歴史』『新しい公民』に付属。）

●『デジタル絵巻』でアクティブ・ラーニング！
なかでも、デジタルならではの特性を生かし、資料から歴史を読みとく楽しさを授業で味わって欲しいと考え作成したのが、『デジタル絵巻』です。この教材は、資料を使って「アクティブ・ラーニング」ができる、まったく新しい形の「歴史資料集」です。

あらゆる歴史教科書に掲載され、1年生の段階で活用する読み取り資料として、「一遍聖絵（いっぺんひじりえ・一遍上人絵伝）」があります。国宝でもあるこの絵巻物は、鎌倉時代の学習において「武士の館」「定期市」の場面が登場し、入試問題にもよく使われています。

浜島書店の「歴史資料集デジタルサポートDVD」に収録している『デジタル絵巻・一遍聖絵』には、次の機能があります。

①「武士の館」「定期市」のよみとり

「武士の館を守る工夫」「定期市で売られているもの」という定番の読み取り授業ができます。高解像度のデータを利用しており、細部にいたるまで拡大し、読み取りができます。この絵巻物は、紙ではなく絹に描かれているのです。

面投影」。

○絵画資料などを単独で投影することにより、「資料集には答えが書いてあるから、読み取りができない！」という課題を解決できる「拡大写真」。

○グラフ・地図などで、「初めから完成形・全体を見せるのではなく、途中段階から考えさせたり、予想させたりしたい」というご要望にお応えできる「解説アニメ」。

○各1分以内で見せられる、掲載資料に

●デジタル教材が、社会科資料集にも登場！

教育現場だけでなく、あらゆる場面で「デジタル化」が進む今日。真に効果的なデジタル教材を探していらっしゃる先生方も多いのではないのでしょうか。

浜島書店では、地理・歴史・公民でいち早く「資料集デジタルサポートDVD」を作成し、社会科の先生方をサポートしてきました。

○「生徒に前を向かせて、授業をしたい…」というご要望にお応えできる資料集の「誌

が、絹の編み目までが見えるほどです。
「武士の館」では、貴族の屋敷との比較や、場面に登場する動物探し、「定期市」では、クイズ的な課題もあり、授業が盛り上がるでしょう。



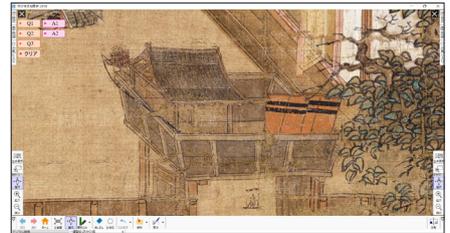
平安時代の貴族の屋敷と、鎌倉時代の武士の館を同画面で比較！

②「巻四」全体ストーリー
「一遍聖絵」は巻十まである絵巻物で、巻四は「武士の館」「定期市」など5つの場面からなる物語となっています。ふつうは、読み取りをするための一場面としてしか見ませんが、巻四の全体を見れば、絵巻物としてのストーリーを楽しむことができます。

そうはいっても、絵巻物に書かれたストーリー



「絵画の中から〇〇を探してみよう」というクイズ的な課題



リーを文章（詞書）から読み取るのは難解です。そこで、セリフを使って、ストーリーを漫画的に表現しました。これにより、文章を読み取るのが苦手な生徒さんでも、歴史資料を見る楽しさを味わうことができるのではないのでしょうか。

③動画「絵巻物の見方」

「一遍聖絵」は、教科書にも資料集にも平面的な絵として掲載されていますが、本来は「巻物」といってもその形状は、想像しにくいことでしょう。そこで、「一遍聖絵」の複製品（といっても、たいへん高価なものだそうですが）を取り扱う場面の動画を撮影しました。「一遍聖絵」を管理・取



動画には、4分半のロングバージョンと、2分のショートバージョンがあります。



セリフは、順を追って表示され、ストーリーがわかるようになっています。

り扱いしている専門の方にお願ひし、当時の人が取り扱っていたようすをイメージできるようにしました。

●紙の資料集とセットで効果倍増！

いかがでしょうか？ 言葉だけで機能の説明しにくい面もありますので、以上の機能を先生方にご説明する動画（2分）も作成しています。

もちろん、生徒さんには手元の資料集を見させ、教室の前方には『デジタル絵巻』を投影して指し示すという方法もとることで、学習内容の定着が図れます。



▲浜島Webサポート

歴史を学ぶ楽しさのひとつに、生の歴史資料から自分なりに発見をするということもあるでしょう。とはいえ、資料を間近で見ると、ましてや教室で生徒さんたちと一緒に見ることは難しいのが現実です。しかし、デジタルの特性を生かすことにより、生の資料に迫ることも可能となりました。

通常、歴史の学習が鎌倉時代に到達するのは1年生の3学期頃。生徒さんも、資料の見方が身につき始めた頃かも知れません。資料を読み取る力は、社会的な思考力にもつながります。

この教材が、多くの生徒さんにとって、歴史資料に対する興味を広げるきっかけとなることを願っています。